

平成21年度砂つけ試験実施計画書

平成21年5月

千葉県 県土整備部 河川整備課

目 次

	頁
1. 試験目的 -----	1
2. 確認項目 -----	1
3. 試験場所 -----	1
4. 試験の実施フロー -----	2
5. 試験期間 -----	2
6. 砂の投入 -----	3
7. 試験項目と内容 -----	4
8. 試験箇所の管理 -----	4

1. 試験目的

塩浜1丁目隅角部の静穏域に砂を投入し、生物の加入状況と投入砂の変化状況を確認し、今後の護岸バリエーションの検討に活用していくことを目的とする。

2. 確認項目

確認項目は以下とする。

①砂の挙動

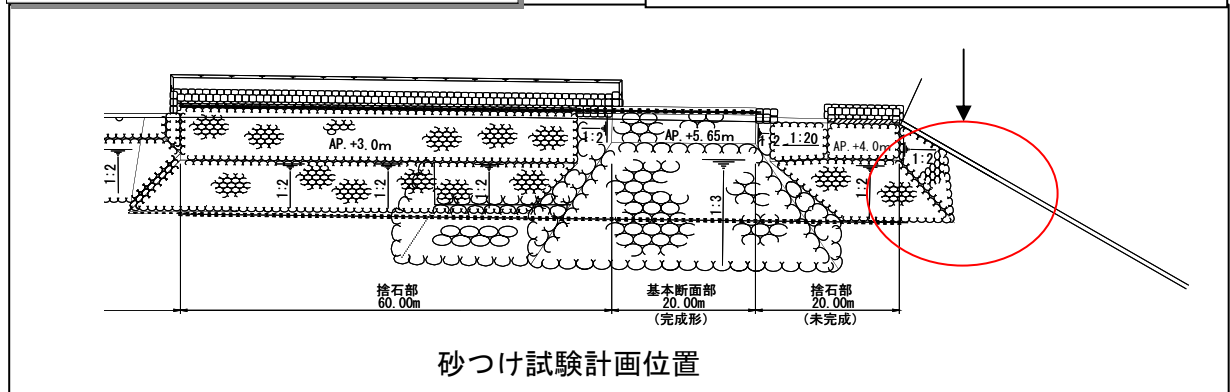
- ・ 測量によって変状を確認する。

②生物相

- ・ 生物調査を行って、どのような生物が確認されたかを整理する。

3. 試験場所

試験場所は塩浜1丁目隅角部とする。



4. 試験の実施フロー

試験の進め方は以下を考えるものとする。

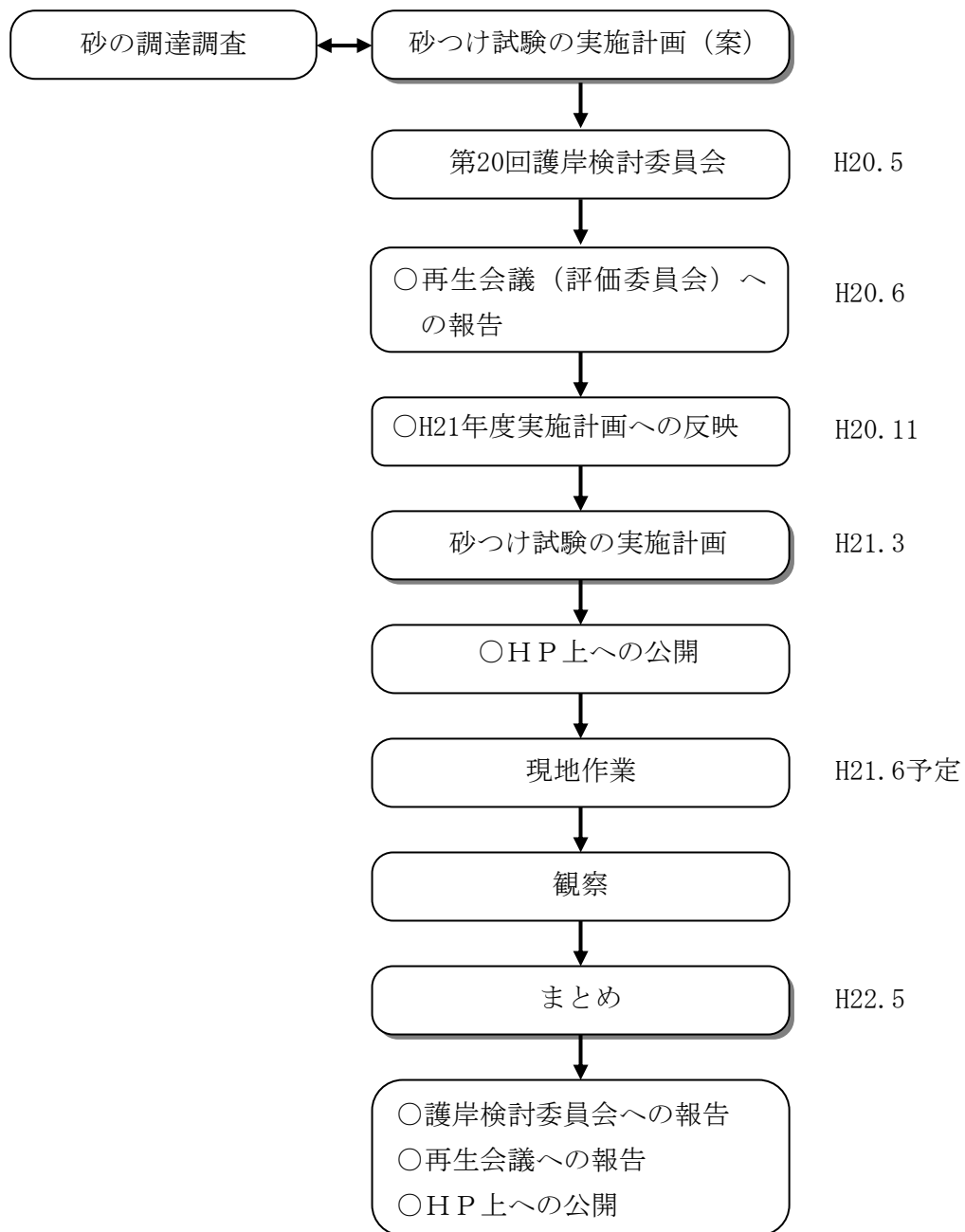


図4-1. 砂つけ試験の実施フロー

5. 試験期間

本試験の試験期間は以下を考えるものとする。

○自：平成21年6月 ～ 至：平成22年5月

ただし、当分の間、試験期間終了後も護岸改修の全体モニタリングの中で、状況を把握していく。

6. 砂の投入

置き砂の投入概要を以下に示す。

①投入量

- ・隅角部の規模を考慮して100m³程度とする。

②砂の調達

- ・近隣の海浜砂、または購入砂を調達する。

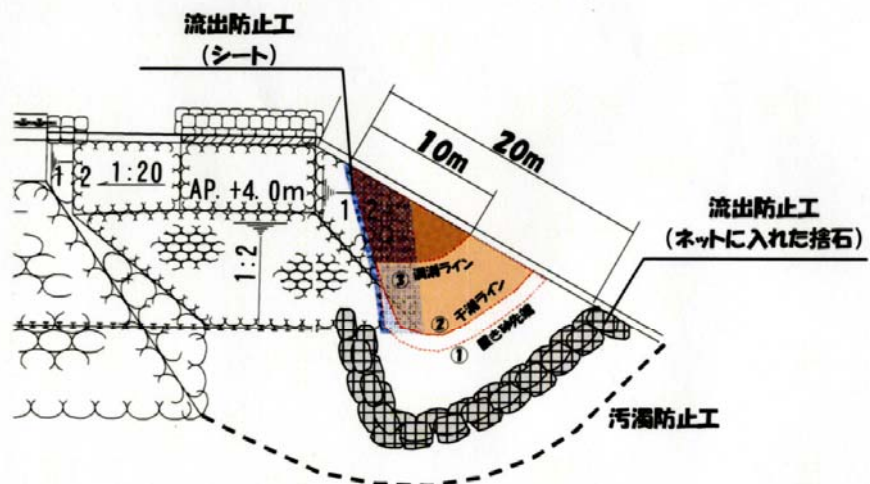
③投入時期

- ・6月の大潮時に公開で実施する。

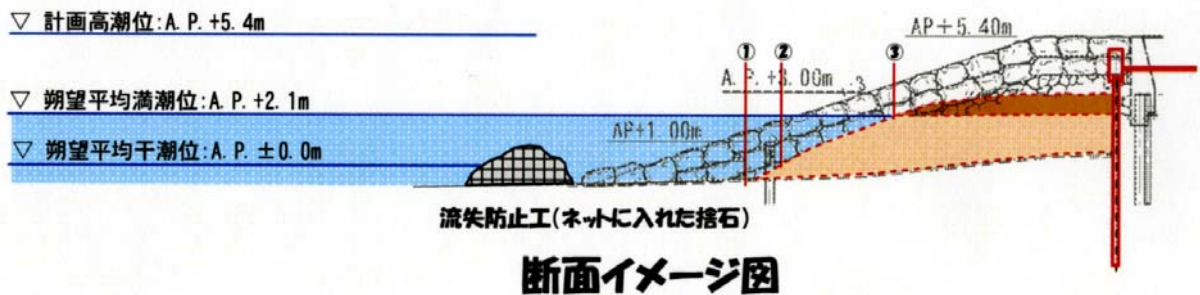
(大きく潮が下がる時期に、投入前の観察を行った上で投入する)

④投入概要

- ・以下の要領で投入する。
- ・汚濁防止工の設置による海水の濁りの拡散防止を図る。



平面イメージ図



7. 試験項目と内容

(1) 砂の性状調査

本試験に用いる砂について土壌分析、粒度調査および生物確認試験を行う。

(2) 観察

砂の投入後、現地の観察を行う。

実施する観察内容等について表7-1に示す。

(3) とりまとめ

とりまとめは以下について行うものとする。

- 置き砂の変形経緯
- 生物観察結果

表7-1 砂つけ試験の観察計画（モニタリング）

区分	項目	目的	方法	時期	数量等
検証項目	砂つけ試験	<ul style="list-style-type: none"> ・砂を投入した場合の砂の挙動を把握する。 ・置き砂に現れる生物相を確認する。 	地形測量	年2回＋イベント（台風等の高波後）	・置き砂投入範囲の中で1測線
			生物観察	夏季：8月下旬～9月 春季：4月の年2回	<ul style="list-style-type: none"> ・方形枠(50cm×50cm)による目視観察 ・潮間帯を1測線（高・中・低潮帯）で観察、低潮帯においては測線の両脇も観察 ・測線上の低潮帯の1箇所採取分析
			採泥 ・粒度試験	秋季：9月 春季：4月の年2回	<ul style="list-style-type: none"> ・後浜部、汀線部、のり先付近を基本として、勾配が変化するごとに1箇所
			形状把握	年2回＋イベント（台風等の高波後）	<ul style="list-style-type: none"> ・定点撮影
検証材料	青潮時の溶存酸素	生物環境への外力把握	D0計による測定	青潮発生時	<ul style="list-style-type: none"> ・1工区の完成断面石積のり先 ・護岸改修範囲の西側で1点

8. 試験箇所の管理

試験箇所への人の侵入等による攪乱防止として、注意看板等を設置して協力を呼びかける。